

議会報

飯南

いinan

第53号
平成30年4月20日

- 02 3月定例会報告
自治功労者表彰受賞
- 03 可決された主な議案 陳情
一般会計予算
- 04 一般質問
- 12 討論 議会基本条例の動き
- 13 採決の結果
- 14 常任委員会報告 議会活動報告
議会全員協議会の議題
- 16 明日を拓く



平成30年

3月定例会終わる

3月5日から20日までの16日間で開催

- 空家所有者に空家の適正管理を義務づける目的で、飯南町空家等の適正管理に関する条例が制定されました。
- 教育委員、農業委員など8つの非常勤職員の報酬が増額されます。合併後初めての改正です。
- 消防団員の定員を減ずる条例改正が行われました。若者減少で団員の確保が困難になってきたためです。
- 国民健康保険料の賦課限度額を58万円に引き上げ、5割軽減、2割軽減の対象が拡大されました。
- ケーブルテレビが光ケーブル化されます。30年度に赤来地域、31年度に頓原地域が計画されています。
- 来島拠点施設の詳細設計と用地造成が計画されています。地域住民のよりどころとなるよう5年の歳月をかけて検討されてきました。
- 指定期間が満了する公の施設の指定管理者の指定が行われました。
- 新たに上赤名地区に4棟、頓原地区に6棟のリースハウスが整備され、4か所35棟になります。

自治功労者表彰受賞

永井章氏、長島正一氏、門眞一郎議員が受賞

二月二十一日に開催された、島根県町村議会議長会定期総会において、永井章氏、長島正一氏、門眞一郎議員が、島根県町村議会議長会から表彰されました。

可決された主な議案

- 条例関係**
飯南町空家等の適正管理に関する条例の制定など14件
- 補正予算**
平成29年度飯南町一般会計補正予算(第9号)など6件
- 予算**
平成30年度飯南町一般会計予算など7件
- 諸議案**
・公の施設(琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設の指定管理者の指定など)16件
・町道の路線認定など2件
・定住住宅使用料に関する権利(債権)の放棄など4件
- 報告**
議会の委任による専決処分報告など2件

陳情

七面大ため池改修の要望に関する陳情

〔請願者〕

代表 飯南町上来島

上来島自治振興協議会

会長 難波伸一郎

飯南町上来島476番地

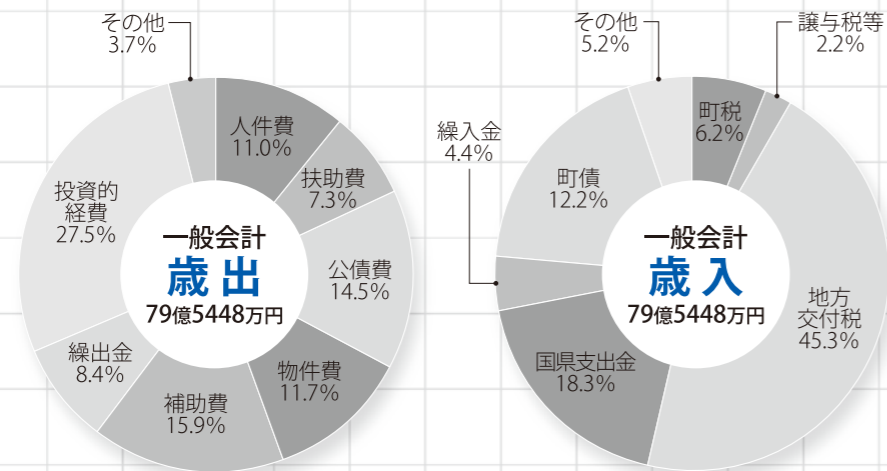
安江自治会

会長 星野康

〔審査委員会〕教育経済常任委員会

〔審査結果〕 採択

〔平成30年度 一般会計予算〕



一般会計・特別会計・病院事業会計の総額は 109億1695万円

各会計		予算額
一般会計		79億5448万円
特別会計	国民健康保険事業	6億6500万円
	後期高齢者医療事業	1億7262万円
	介護保険サービス事業	3320万円
	簡易水道事業	4億3589万円
	下水道事業	4億471万円
	病院事業	12億5105万円



一般質問

3月定例会



瀧尻 行雄 議員

Q U-Iターナー者の定住促進は

「空き家」と「農地」をセットにするとともに、農地の取得制限の緩和が必要である。農地取得の下限面積を引き下げることで、U-Iターナー者の定住促進に繋がる。併せて、営農組織、J A、農家等が支援し、地域の担い手として繋がれば、心温かい地域形成が出来るようになる。町長の思いを問う。



農地

A さらに進める

町長 山崎 英樹

U-Iターナー者は、今日までの受け入れが50人を超え、就農者が7人で、農業振興に寄与されている。移住しやすい「空き家」「農地」の定住対策をさらに検討する。下限面積の引き下げは、農業委員会で協議していただき、定住増に繋がるよう取り組んでいく。



空き家

Q 老朽化した福祉施設の更新を

頓原にある福祉施設は老朽化が進み、雨漏りもある。また、障がい者施設では、裏山が急斜面のため危険であり、建て直す時期ではないか。福祉は、地域住民にとって身近なものである。病院、介護施設、障がい者施設、定住住宅を集約し、「医療・福祉」を中心とした町づくりを進めることができる。関係機関と連携し、福祉施設を持続させ、地域が発展することを願う。町長の思いを問う。



旧保育所を利用した障がい者施設

A 支援のありかた研究する

町長 山崎 英樹

町内の高齢者福祉施設は、本町の町づくりに欠くことのできない施設であり、老朽化についても大きな課題と認識している。また、旧保育所で実施中の障がい福祉サービスは、障がいをお持ちの方々にとって大切なサービスであると認識している。サービス実施事業所からも、施設の老朽化による建て替えの要望を聞いている。今年度、障がい者福祉計画を策定するにあたり、どのような支援が必要であるか研究していく。



福祉施設愛寿園は築35年を迎える

一般質問

3月定例会



内藤 眞一 議員

Q 商標登録の検討状況は

前回、飯南米に「日本一の大しめ縄」ブランドの付加価値を提案した。町長は「J Aとも相談し検討する」との答弁だったが、その後どうなったか。

町長 山崎 英樹

コシヒカリによる商標登録戦略を価格上昇に結び付けるのは困難だ。

とは言え、この度の「日本一の大しめ縄の架け替え」は絶好のチャンス。7月の大しめ縄奉納時の飯南米配布や、神門通



しめ縄作りの準備を進める組員

Q 飯南ブランドの和牛飼育を



島根県中央子牛共進会

昨年の宮城全共での島根県の成績は大変残念な結果であった。本町も、どのような支援が必要か、関係者とよく話し合うべきである。

島根県が、9年後の全共に向け「しまね和牛振興対策事業」に約1億9千万円を計上すると報じられた。本町も、飯南ブランドの和牛飼育への活用など積極的に支援をすべきだ。

A 4年後に向け再起を誓う

町長 山崎 英樹

「農業は本町のまちづくりの要を成すもの。畜産は農業の中心となるもの」との思いで、積極的支援策を講じている。飯南町優良肉用牛改良事業として、優良基礎雌牛保留と受胎移植事業を行ってきた。

平成30年度も、優良肉用牛改良事業による保留・導入支援を行う。また、雲南農業振興協議会でも4年後の全共を目指し、島根県有種雄牛「久茂福」の交配支援と独自の血統構成対策事業に取り組む。

飯南町和牛改良組合・J Aなど、関係団体との連携で、生産基盤確立など体制を再構築し、4年後に向けて再起を誓う。

Q 告知放送の内容改善を

この冬の水道漏水確認を求める告知放送は、誠に不親切な放送であった。防災マニュアルには如何に記載されているのか。

人命第一、次にライフライン確保、生命と財産を守るのは行政の仕事だ。防災責任者として、町長の答弁を求める。

A マニュアル化し改善する

町長 山崎 英樹

多岐に渡る告知内容を整理し、住民に分かり易く放送することは大切である。真摯に受け止め、今後マニュアル化し改善する。



一般質問

3月定例会



伊藤 好晴 議員

Q 災害時 どう対処する

災害対策について、6点質問する。住民目線での答弁を求める。

- ①災害時の備蓄はどうなっているか。
- ②高齢化の中、進入路除雪もままならないところがある。今後の大雪対策は。
- ③島根原発事故の際、松江市の住民が避難してくる。対策は出来ているか。また、避難所になる小・中学校への児童・生徒への対応は。
- ④南海トラフ巨大地震発生時、本町への影響は。
- ⑤町長・副町長不在時の災害発生への対応は。
- ⑥ペット同伴で避難する場合の対策は。

A それぞれ策定中

町長 山崎 英樹

①住民には、水・食料など72時間分をお願いしたい。できれば1週間分。

町は、水・米を備蓄、生活必需品・救助用資材を各施設へ

備蓄している。

また、近隣市町・各団体と災害協定を結んでいる。

②貸与している小型除雪機の活用。除雪費用助成制度を一部改正して対応。

身近な地区で、互助の力の発揮をお願いする。地域の拠点づくりで行政と課題を共有し、解決の仕組みづくりを進める。

③受け入れの調整は、県が担っている。当事者として松江市もしっかりとやるべき。受け入れは千人を想定している。

避難場所は、当面本町が運営するが、その後は松江市が運営する。学校の児童生徒の対応は詰めていない。



災害時の備蓄倉庫(赤名)

いずれにしても十分ではなく、県・松江市との協議が必要。

④想定は困難だが、震度5の可能性がある。対策マニュアルはあるが、しっかりと頭に入れておかなければならない。

⑤業務継続計画を定めることが重要とされ、今年度末を目標に策定中。

職務の代行は、副町長・教育長・総務課長の順で位置づけたい。全員不在時は、その都度代行者を指名する予定。

⑥ペットの保護は、飼い主である被災者への支援であり、適正な対策を講じなければならぬ。今後の検討になる。

Q 奨学金を給付型に



奨学金を返済したくても出来ないという実態がある。

国も給付型奨学金の導入に乗り出しているが、本町の奨学金制度も給付型を導入すべきではないか。

A 導入を検討

教育長 矢飼 斉

町の将来を担う人材育成に必要な支援と認識し、平成31年度の導入にむけて協議を進める。

その他、4月に改定される診療報酬の飯南病院への影響についての質問に対し、直ちに影響はないとの答弁があった。

一般質問

3月定例会



門 眞一郎 議員

Q 夜間銃猟に取り 組むか

狩猟法が改正され、夜間の銃猟が可能になった。

町長は、夜間銃猟が可能となるよう取り組んでみる考えはないか。

昨年は、ワイヤーメッシュの普及による防獣の成果と、山にドンガラなどの餌が豊富にあつたことにより、農地のイノシシ被害が激減し、捕獲数も少なかった。豊富な餌は次年の繁殖に繋がる、対策をどうと



猟友会

A 導入しない

町長 山崎 英樹

平成27年の法律改正により、都道府県等が捕獲を行う、指定管理鳥獣捕獲事業が創設された。これを実施するには、県の位置づけが必要だが、島根県では位置づけしていない。また、町内で有資格者を確保することは困難だ。

ワイヤーメッシュは未整備箇所への設置に向け努力する。

Q 将来の 農業方針は

農業規模拡大により、生産原価を下げるためには、従事者を減らし人件費を下げる必要があるが、中山間地域の圃場管理は人手を要するので、効果は限定的である。むしろ、生産技術の大幅な改革や販売ターゲット、顧客需要に合わせた品種を選定する方が効果的ではないか。

要は、司令塔となる管理部門であるが、町長はこれにどのような機能を期待しているのか。

また、JAの業務用米生産拡大方針は、本町の方針とみ合っていないのではないかと。ブランド化による価格の引き上げ努力を行いつつ、原価の引き下げで利益を確保することに力を入れなければ、本町の稲作農業の明日はないと思う。町長の目指す稲作農業は何か。

A 十分な議論が必要

町長 山崎 英樹

高齢化が進む本町では、75歳までは現役で、農業などそれぞれの場所で頑張っていたきたい。

農機具や資材の購入時に規模拡大メリットが発生する。集落で所有するコンバインなどを隣の集落と共用し、所有数を減らすことが考えられる。

このためには、計画的に作付時期を定めるなど、管理部門の役割が重要である。

米のブランド化は、特別栽培米(エコ米)で勝負するという方向が定まっている。

高品質・高食味の米としてブランド化を目指しているが、エコ米の普及率は4割にとどまる。業務用米などの考え方は、JAや農家と十分な議論が必要だ。



一般質問

3月定例会



安部 丘 議員

Q町営火葬場の在り方を問う

最後のお別れの場所として、飯南町火葬場は貴重な資産である。

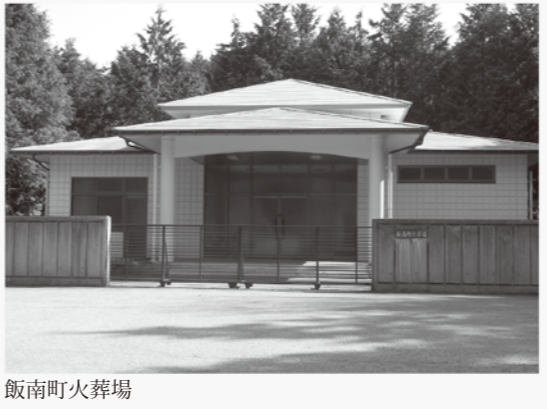
国税庁の「耐用年数の適用等にかかわる取扱いの通達」では、火葬設備は16年と規定されている。飯南町火葬場は、平成2年に建設され、今年で28年目を迎えるが、定期点検と必要に応じた修繕が行われており、今のところは安全に稼働できている。

しかしながら、施設は老朽化し、最後のお別れをするのに

相応しくない環境となっている。近隣の同様施設と比較してもその差は歴然である。

私も、この施設を利用したが、家族や親族の気持ちに、今少し寄り添った空間を提供することが望ましいと感じる。これは、施設を利用した人の多くが感じていることでもある。

飯南町火葬場の設備や運営のあり方について見直すべき時期が来ていると思うが、町長の考えを問う。



飯南町火葬場

A改善に努める



雲南市三刀屋斎場受付



ロビーと待合室



町長 山崎 英樹

保有する公共施設の利用状況や老朽化を勘案し、更新・統廃合・長寿命化など施設の最適化を計画的に進めるため、平成29年3月に飯南町公共施設等総合管理計画を定めた。

これに基づき、現在は飯南町公共施設有効活用検討委員会において検討している。この中で、火葬場は長寿命化により引き続き機能を維持するという基本方針だ。

火葬場そのものは、平成2

年に鉄骨造りとして建設したものが、平成25年度に新しい火葬炉に更新した。

建物自体は、建設後28年を経過しているが、鉄骨建築の耐用年数は38年となっており、今のところ支障なく稼働できる状況にある。

指摘にあった運営面においては、縁のあった人々が故人を偲びながら、最後の「お別れ」に相応しい場であるよう、今一度確認し改善に努める。

一般質問

3月定例会



景山 登美男 議員

Q仕事と子育ての両立を

平成30年度の町内小学校4校の新1年生は34人と聞いている。島根県の共働き世帯は78・2%で全国1位ということだが、本町ではほとんどの世帯が共働きである。

そのような世帯で、子どもの面倒をみる方がいない家庭では「小1の壁」に直面することになる。またこのことは、小学3年生くらいまで続くと思われる。

そこで、本町ではそうした子どもを持つ保護者が安心して



児童クラブで仲良く健やかに過ごす様子

※共働きやひとり親世帯において、子どもの小学校入学を期に、仕事と育児の両立が難しくなること

仕事ができるような環境づくりが、どのような状況になっっているか問う。

①放課後の対応はどうなっているか。

②夏休みなどの長期休業中はどうか。

③臨時休校などの緊急時の対応は。

子育て支援の質・量の充実によって、子育てしながら仕事を続けることができる社会の実現を図るべきと考えるが、町長の決意は。

A要望に応えたい



教育長 矢飼 斉

①平日の「放課後子ども教室」を町内4地区で行っている。時間延長の要望があるが、指導員の確保が困難な状況である。

②町全体を対象に1ヶ所で児童クラブを運営している。頼原公民館でも、午後に限って実施している。

③緊急時対応可能な制度として、ファミリーサポートセンター事業を実施している。保育所の保護者への広報には努めてきたが、小学校の保護者には周知が十分ではないので、周知に努めたい。

これらの課題については現在アンケート調査を実施している。その結果を踏まえ、保護者の要望に応えられる事業になるようにしたい。

A支援の拡充に努力

町長 山崎 英樹

これまで、子育て支援については、住民の力を借りながら、さまざまな制度の充実を図ってきたつもりだが、教育長の答弁にあったように、まだまだ課題がある。

また、仕事と子育てを両立させるために、行政のみならず、住民の力や企業の支援が必要だ。

今後も、子育ての現場に即した一層の支援拡充に努めて行く。



一般質問

12月定例会



早樋 徹雄 議員

Q 水道施設の管理体制はどうか

この冬の低温により、水道管の凍結や破裂による漏水、また一部での断水が発生した。告知放送などにより、断水阻止に向けての努力もあったが、原因の特定に時間を要し、水道施設の管理に不安を感じた。

冬季の漏水調査は、積雪などにより困難が予想されるが、迅速に対応できる管理体制や、漏水調査を容易に実施できる施設改良が必要と思うが、町長の考えを問う。



杉戸浄水場

A しっかりと総括し体制を構築

町長 山崎 英樹

断水しないよう懸命に努力したが、反省すべき点と課題が残った。

漏水箇所の多くは一人暮らしの家庭で、長期間不在中の水道管破損事故であった。留守にされるときは、必ずバルブを閉じてもらいたい。

積雪によりメーターの位置が特定できなかったことや、屋根からの雪ずり等の処理に時間を要した。これには、積雪前の目印設置や、バルブ位置の変更などが必要であり、凍結・破損に対する注意の喚起が重要である。

自治会、地域住民、業者、行政が密に連携し、協力することが大切である。今回の事態を総括し、体制の構築、流量計の設置など検討したい。
また、中央監視装置の早期完成と、事故を未然に防ぐ管理体制を構築する。

Q 国民健康保険の都道府県化

A 県と共に健全な運営に努める

町長 山崎 英樹

都道府県が市町村とともに国保運営を担い、国保制度の安定化を図って行くこととなった。小規模自治体には大きなメリットであるが、加入者は保険料に関心がある。

平成30年度の保険料はいくらの予定か。また平成31年以降はどうなるのか。加入者への直接的な変更と影響もあわせて問う。

仮算定だが、一人当たりの保険料は11万7456円となり、前年より増える。世帯数や被保険者数の減少が大きく影響したもので、加入者の皆さんの理解をお願いしたい。
平成31年以降は、一概に推定は出来ない。

町による保険料の徴収率や特定検診の受診率によって、交付金変動するので、特定検診を受けていただきたい。加入者に直接的にかかわる大きな変更はない。
国保運営は制度改正の影響を注視しつつ、県と共に健全な運営に努める。



一般質問

12月定例会



高橋 英次 議員

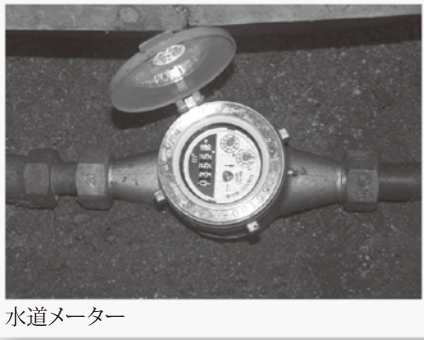
Q 水道管の状況は

簡易水道開始時期は、早い順に、角井・赤来・頓原地区が昭和35年、八神地区が昭和38年、志津見地区が平成3年、谷地区が平成6年である。

総延長は487kmに達し、敷設後58年を経過する部分もある。この状況の中で、各地区の水道管の劣化は大丈夫か。

次に、赤名地区では石綿管が残っていると聞くが、劣化による耐震強度が心配される。敷設状況と対策は。

この地区の水道管は、畑などの軟弱地盤に敷設されている部分もあるが、現状の認識と今後の対応を問う。



水道メーター

A 計画を基に管理・運営

町長 山崎 英樹

公共施設は、飯南町公共施設等総合管理計画を基に管理運営する。

水道管について、この計画の中で、平成27年3月現在135kmを劣化対象としている。耐用年数の40年を経過する部分が33%の44km、10年後は約91kmとなり、半分以上が老朽化する。

水道施設は、将来の人口減による使用料収入の減少、施設の老朽化による維持費の増大、多額の更新費用等の課題はあるが、町民生活に欠かせないインフラ施設として機能を保つていかなければならない。

昭和30年代に敷設された石綿管は、赤名連担地を中心に存在し、強度に課題がある。

畑など、公道に敷設されていない水道管があるのは承知している。維持管理上望ましいものではなく、総合管理計画のつら計画的に進めていく。

Q ガードレールをガードケーブルに

A 費用対効果を勘案し検討

町長 山崎 英樹

道路除雪を行うに当たって、幅員の狭い道路では、除雪した雪がガードレールに阻まれ排水が困難になるとともに、道路の狭小を招いている。

雪国では、対策として、ワイヤーを使用したガードレールを敷設し、排雪や道路の幅員確保に役立つ。地形や場所に応じて導入する考えはなにか。

今回の大雪に除雪作業を担っていただいた皆様方には、心からお礼を申し上げます。
ガードケーブルは強度に優れ、排雪に有効な手段ではあるが、設置費用がガードレールの約2倍かかる。

ガードレールの修繕や新規の道路改良工事の際に、設置条件や費用対効果を勘案し検討する。



ガードケーブル

討論

反対討論 伊藤 好晴議員

消防団員等公務災害補償条例

扶養親族加算額のうち、子の加算額が引き上げられる一方で、配偶者や父母等が引き下げられる。配偶者などは引き上げるべきと考えるので反対する。

国民健康保険条例

国保の保険料は年収600万円前後で上限に達する。賦課限度額の引き上げは、高額所得者を課すことになる。国庫負担率を大幅に引き上げ、国民の負担を軽減するのが筋だ。都道府県化は、医療費の削減にある。条例改正と予算に反対する。

後期高齢者医療に関する条例
高齢者に大きな犠牲を求める後期高齢者医療制度は廃止し、元の老人保健制度に戻すべき。制度廃止まで、条例案件・予算案件などに反対する。

平成29年度一般会計補正予算（琴引スキー場外臨時管理費1080万円）

12月下旬～1月前半の雪不足により、入り込みが増えなかったというが、平成26年以降3万人に到達した年はない。人工降雪機は、雪不足にならないように導入されたのではありませんか。住民の理解が得られるような対策を立てるべき。

平成30年度一般会計予算

町政に求められているのは、くらしを守るための施策を充実させること、国に対して町民の立場で発言し行動することだ。町民の命と健康、安全を守る。町政の最大の使命。派手に見える観光事業などではな

く、地味ではあるが、町民の暮らしを守ることに密着した予算投入を求める。町民生活を守るための予算が不十分であるため、反対する。

賛成討論 熊谷 兼樹議員

高額所得者に対し、賦課限度額の4万円引き上げと2割5割軽減の対象を拡大し、低所得者と中間所得者層に配慮している。島根県は、新制度の円滑な導入を図るため、激変緩和措置期間を6年間設けている。

飯南町議会基本条例・生みの苦しみ

平成27年3月に、飯南町次世代につなぐまちづくり基本条例が施行された。

本議会は、この条例の検討と平行して、議会基本条例の制定が必要という意見があり、議員研修のたびに、研修先の市町の状況を調査してきた。

議会基本条例とは、平成18年北海道栗山町で初めて制定され、質問するだけという地方議会のあり方を見直し、活発な議論を促すのが目的であった。

本議会は、少数精鋭化を目指して定員削減を断行したが、一人ひとりの資質の向上や、議会として住民の皆さんと意見交換する機会も設けたことがなかった。

これらの問題を解決すべく、平成27年から全国の議会基本条例の基礎となったモデルを参考に、条例案の検討にとりかかった。議員定員や事務局体勢などの越えられない壁の存在や、執行部に義務付ける案件など、意見の一致を見ぬまま平成29年7月任期を終了した。

翌月、新たな議会が召集され、条例制定に向け再び努力を重ねることとなった。

前回の反省点も考慮しつつ、身の丈にあった、実効性のある条例制定に向け議論を進めている。骨子はおおむね定まり、最も重要と考えている前文に取り掛かったが、議論の仲、生みの苦しみの真只中である。

議会運営委員会 委員長 門眞一郎

採決の結果

【3月定例会】

全49議案のうち、反対等があった議案の採決結果は次のとおりです。

件名	結果	伊藤好晴	瀧尻行雄	門眞一郎	熊谷兼樹	内藤眞一	熊谷兼樹	早稲徹雄	高橋英次	景山登美男	安部 丘
飯南町空家等の適正管理に関する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町生活路線バス車両更新基金条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町いじめ問題対策連絡協議会等設置条例の制定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町職員の給与に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町非常勤の職員の報酬及び費用弁償支給条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町移動用通信鉄塔施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団の定員、任免、服務等に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町移住体験住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町医療及び福祉従事者確保対策助成金条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険条例の一部改正	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町国民健康保険事業基金条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町後期高齢者医療に関する条例の一部改正	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(琴引スキー場及び琴引スキー場周辺施設)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(都市交流センター)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(道の駅「頼原」情報交流館)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(頼いの郷衣掛)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(赤名観光体験農園)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(赤名観光ばたん園)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町赤米農林産物直売所)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(飯南町堆肥センター)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(川尻公民館)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(角井自治会館)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(都加賀介護予防拠点施設)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(長谷介護予防拠点施設)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(上赤名介護予防拠点施設)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(谷農村公園)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(上赤名農村公園)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公の施設(赤名ふれあい公園)の指定管理者の指定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線認定	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町道の路線変更	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定住住宅使用料に関する権利(債権)の放棄	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住宅使用料に関する権利(債権)の放棄	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水道料金に関する権利(債権)の放棄	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
診療収入に関する権利(債権)の放棄	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町一般会計補正予算(第9号)	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町簡易水道事業特別会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町下水道事業特別会計補正予算(第4号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町病院事業会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町一般会計予算	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町国民健康保険事業特別会計予算	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町後期高齢者医療事業特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町簡易水道事業特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町下水道事業特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町介護保険サービス事業特別会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成30年度飯南町病院事業会計予算	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【第1回臨時会】

2月9日開催

教育委員会の委員の任命	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飯南町移住体験住宅の設置及び管理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
財産(町営バス車両)の取得	〃	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度飯南町一般会計補正予算(第8号)	〃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 ×欠席議員

教育経済 常任委員会

委員長 内藤 眞一



七面大ため池視察

平成29年度 飯南町一般会計補正予算

琴引スキー場外臨時管理費 1080万円

今年度の入込客数が3万人に達していないことによる指定管理料の増。



平成30年度 飯南町一般会計予算

農業委員会委員報酬 634万円

従来の月額1万円の報酬に、活動費月額6千円が加算される。さらに農地集積の実績により、月額最高1万4千円が加算される。

リースハウス団地整備事業 3956万円

リースハウスを上赤名地内に4棟、頓原地内に6棟を新設し、新規就農者のパプリカとトマトの生産拡大を図る。これによりリースハウス団地は4か所35棟、総面積10,888㎡となる。

農産物6次産業化支援事業 1150万円

飯南町農産物加工施設にプロトン冷凍機を、道の駅あかぎ高原に低温蒸気解凍機を設置するためのもの。これにより農産物を加工・冷凍保存し、長期間鮮度を保持することが出来るようになり、給食センターや町内の飲食施設への食材供給が可能になる。

憩いの郷衣掛経常管理費 2195万円

琴引スキー場外経常管理費 2363万円

道の駅頓原経常管理費 2266万円

前者2件は、それぞれ前年度に比べ430万円の増額、後者は320万円の増額となっている。

客数減少による売上低迷の中、現在の雇用を維持するために増額はやむを得ず、今指定期間中に運営方法を検討するとの説明を受けた。早期の検討を求めた。

学校給食経常管理費 4172万円

学校給食の食材供給に、従来の農家に加え、町内の直売所である「ぶなの里」、「ぼたんの郷」から農産物の供給を受ける体制が構築された。

これにより、学校給食における地産地消が推進されるものと期待する。

議会全員協議会の議題

2月9日(金)

- ① 中期財政計画について報告
- ② 平成30年度予算要求状況について説明
- ③ 来島拠点複合施設について説明
- ④ 精神障がい者及び人工透析患者通院・医療費助成制度の改正について説明

3月19日(月)

- ① 飯南町空家等対策計画について説明
- ② 飯南町業務継続計画について説明
- ③ 情報基盤整備事業について説明
- ④ 森林資源活用による林業の魅力づくりプロジェクトについて説明
- ⑤ 国民健康保険制度改正について説明
- ⑥ 平成30年度飯南町医療及び福祉従事者確保対策助成金対象者の募集について説明
- ⑦ 飯南町いじめ防止基本方針の策定について説明

総務厚生 常任委員会

委員長 瀧尻 行雄



飯南病院の駐停車場の視察

平成29年度 飯南町一般会計補正予算

非常備消防臨時管理費 380万円

町道改良に伴い、消防自動車車庫を移転新設するものだが、予算化されておらず、今回の提案となった。

それに対し、課を横断した十分な協議と連携をするよう求めた。

条例改正

飯南町空家等の適正管理に関する条例

空家等対策の推進に関する特別措置法に基づき、条例が制定された。特定空家に認定されると、助言・指導・勧告・命令・代執行などが可能になる。

※特定空家: 放置すれば倒壊等著しく保安上危険となるおそれがあると認められる空家等をいう

飯南町消防団員の定員、任免、服務に関する条例

若者の減少に伴い、定数の確保が困難なことから、340人を300人に改正する。OBの協力も視野に入れるよう求めた。

平成30年度 飯南町一般会計予算

財政調整基金繰入金 2000万円

財政調整基金の繰り入れによる予算編成。執行部のみならず全職員、議会も含め危機感を共有しなければならぬとの意見が出された。

情報通信基盤整備事業 6億6901万円

ケーブルテレビの伝送路が、設置から15年以上経過する。より強靱で安定的な放送ネットワークをめざし、光ケーブルに更新する。

来島拠点施設整備事業 1億3565万円

検討委員会で検討されてきたものを基本に、建物の詳細設計と用地の取得・造成を実施する。

町立保育所業務委託 1億4815万円

産休明け保育実施のため、看護師、保育士などの増員が必要。人員が確保されなければ施設が機能しない。就職支度金などの制度があることを周知し、しっかりと対応するよう求めた。

議会活動報告 [1月～3月]

- 1 7日 大村市懇親会
- 9日 議会広報編集委員会: 紙面校正作業
- 14日 飯南町消防団出初式
- 20日 広島頓原会総会
- 24日 議会運営委員会
- 25日 教育経済常任委員会: 陳情審査
- 28日 松江頓原会
- 30日 北海道豊富野町視察対応

- 2 1日 雲南地域議会議長連絡協議会研修会・意見交換会
- 4日 猟友会総会
- 9日 議会運営委員会: 臨時会の提出議案、日程外の協議
臨時議会、議会全員協議会
- 11日 山陰新幹線の早期実現を求める松江大会
- 16日 総務厚生常任委員会
ブナの里総会
- 21日 雲南広域連合議会2月定例会
島根県市町村議会議長会総会
- 22日 竹島の日総会
- 23日 議会運営委員会: 議会基本条例
総務厚生常任委員会

- 28日 議会運営委員会: 3月定例会の提出議案、日程外の協議
飯南高校鵬雲会入会式

- 3 5日 3月定例議会: 本会議、町長提出議案の説明
- 6日 : 本会議、町長提出議案の説明、質疑、委員会付託
- 9日 : 本会議、一般質問
- 11日 施設野菜生産組合総会
- 12日 : 委員会審査
- 13日 : 委員会審査
- 14日 : 委員会審査
- 15日 : 委員会審査
- 16日 : 委員会審査
- 17日 飯南町しめ縄創作館 神楽殿しめ縄奉納安全祈願祭
- 19日 : 委員会審査、予算特別委員会審査、議会全員協議会
- 20日 3月定例議会: 本会議、討論、採決
- 22日 議会運営委員会: 議会基本条例
- 26日 雲南市飯南町事務組合議会定例会
- 27日 議会広報編集委員会: 委員会報告等要約作業
- 28日 総務厚生常任委員会
- 30日 議会広報編集委員会: 委員会報告等要約作業

この町に来てから山に魅せられた

飯南町森林セラピーガイド

荻野 英明さん

荻野さんは産業体験者として京都府から飯南町にご夫婦で定住され、現在は井戸谷に住まわれています。セラピーロード周辺施設の管理とともに森林セラピーガイドをされ、ハーブやキノコ、山菜などに詳しい森の博士です。

セラピストへの動機は

山への関心はあまり無かったのですが、第1期セラピスト募集時に、役場から勧誘の電話があつて「森林セラピーとは何？」と尋ねたら、「お客様に山のことを簡単にお話するだけ」と説明を受けました。2日後、「ご登録ありがとうございます」という、突然の通知がありました。



「ただ、山が好きだったんだと思います。それから山野草の名前など、次々覚えていききました。セラピストの出勤回数も一番多くなっています。」

森林セラピーの楽しさ

山は、いつも異なる表情を見せるので、私自身も楽しいと感じます。

森林セラピーは手段が明確に無く、参加者にリラクゼーションとして楽しんで帰ってもらいたいというところが主です。これがないという希望があれば予定変更し、やりたいことができる自由があります。

参加者が山モードに変わるには少し時間が必要ですが、徐々に

明日を拓く



に積極的な要望を述べられ、山に興味を持っていただけます。自然の良さを見つけてもらう、見つけるお手伝いをするのが森林セラピーの案内の仕方だと思います。

森林セラピーの今後は

私は、ふるさとの森の管理業務委託を受けて常時ここにいるので、セラピスト希望者には、共に歩いてアドバイスします。どんどん若い仲間を増やしていきたいと思っています。

本町の小学校と高校は学習メニューとしてセラピーの体験があります。町民の方にも体験してもらいたいと思います。家の裏山とは、また違った魅力がありますよ。



3月中旬に役場で開催された飯南町森林セラピー養成講座で講師を務めた荻野さん。「森を識ろう」と題した講座で、ガイドが利用者と共にセラピーロードを歩く時の注意点やコースの説明などを、熱心に分かり易くお話しされていました。山陰地方で初めて森林セラピー基地として認定された飯南町。今後は本町固有の森林資源を活かした、森林セラピーガイドや森林セラピストの育成が進み、「森林セラピーといえば飯南町」の名を轟かせたいものです。

編集後記

大雪で被害を受けられた皆さんに、お見舞い申し上げます。

三月に入るとそれまでの気候が嘘のように一気に春めき、十日にはふきのとうを頂きました。天気に誘われ例年より早めに農作業が進んでいる方も多いのではないのでしょうか。今年の作柄が良いことを願うばかりです。

さて、このたびの定例議会でも初めて一般質問にたちました。緊張で声をうわずらせながらも、議員として貴重な一歩を踏み出すことができました。これからも品格と活気をあわせもつ議会であるべく、その一員としてしっかり研さんを重ね、住民の皆さんの声を聞き、信頼され期待される議会活動に努めて参ります。

これからも温かいご声援とご指導を、よろしくお願いいたします。

議会広報編集委員会 副委員長 安部 丘

今月の表紙写真

